

学校運営協議会だより

文責 CS事務局

回
覧

学校運営協議会だよりNo.11では、7月23日(水)に開催された第2回運営協議会の様子と今年新設された俱知安高校学校運営協議会の様子(news)をお伝えします。



東原教育長あいさつ

第2回京極町学校運営協議会は、年度当初事業計画では、7月16日(水)に実施予定でしたが、諸般の都合で開催を1週間延期し、7月23日(水)に実施しました。

東原教育長あいさつの中で、これまでの京極町学校運営協議会事業の反省を踏まえ、本年度事業計画が大きく2点変わっていることについて説明がありました。

〈変更点1〉

学校運営協議会は、年3回(5月・10月・2月)実施していましたが、本年度より1回増の年4回実施となりました。

実施増の学校運営協議は、7月(本日)に第2回学校運営協議会として行い次年度実施予定の「こども会議」について熟議を進めます。

〈変更点2〉

これまで学校運営協議会は、すべて公民館(もしくは湧学館)において、夜間実施していましたが、本年度より第3回学校運営協議会を、各学校において昼間行うこととしました。

これは、「各学校で授業参観後に、学校関係者評価を行いたい」という委員の意見を受け、対応したものです。

すでに、各学校との日程調整も行い、中学校は10月14日(火)・小学校は10月24日(金)午後からの日程でご案内させていただきます。なお、授業参観を実施することから、委員の皆様には昼間参集していただくこととなりますが、万障繰り合わせの上、第3回学校運営協議会への出席をよろしくお願いします。

熟議1では、「こども会議」実施要項をもとに意見交流をしました。

京極町学校運営協議会で主催する「こども会議」について、その目的や今後挑戦させたいテーマについて意見交換が行われました。

裏面では、「こども会議」の目的について、また今後児童・生徒に挑戦させたいテーマについて出された意見を一部ご紹介します。

■熟議・・・目的の検討

【こども会議の目的】

京極小学校・中学校の児童会、生徒会の代表による「こども会議」を開催し、児童・生徒がよりよい町づくり(ふるさと)のために協働して取り組むことにより、社会に貢献することの意義を学ぶ。また、児童・生徒が自らの課題を把握し、その解決に取り組むことにより、主体的に行動する態度を育てる。

を考えさせる取組を、単年度に終わらず継続して進めてみたい。



～各委員からの意見～

・目的は実施要項(案)で良い。

・実施要項(案)を目的とし、子ども達がふるさとを思い、こんなふうになってほしいという思いをもって今後どう行動すべきか

一般に子ども達が「子ども議員」として、地域づくりや学校、教育について考え意見表明する「子ども議会」があります。「子ども議会」は、他者の意見に耳を傾け、共に問題を解決する力を育むことを目的とする「子ども議会」があります。

■熟議・・・他町村の実践例を参考に、こども会議で取り上げたい議題を話し合いました。
各部会で熟議を進めました。



豊幌町学校運営協議会が実施している「交通安全マップ」づくり、「京極町版」作成に挑戦してみた。特に、冬道は車も歩行者も危険が増すので、京極町オリジナルのものを作成できると良いと思う。

写真は、小学校部会で熟議をしている様子です。

■熟議・・・こども会議で取り組みたいテーマ(各委員のオリジナル)案を考え交流しました。

- 「ふきだし公園の開発」について、子ども達の視点で考え、提案できる取組みを進めてみることはできないだろうか。
- 「未来の京極」を議会ではなく、子ども達自身の課題として話し合いができる会議という形で、子ども達が「京極の未来」を考える取組を進めてみたい。
- 子ども達自身がテーマを考えることができるよう、子どもに聞いてみると良いと思う。
- 大人でなく子どもがやってみたいというテーマ設定はできないだろうか？また、継続して取り組むことができるテーマ設定が必要であり、成果を踏まえ次につながるテーマを設定できるように考えていきたいと思う。
- 町が実際に行っているイベントについて・・・例えば「町民レク」等で子ども達が種目を考えることができる。といった取組ができれば、子ども達も達成感を味わうことができるのではないか。

news!

高校も学校運営協議会がスタート！

倶知安高校(倶高)第1回学校運営協議会に参加

北海道倶知安高等学校は、5月28日(水)第1回学校運営協議会を開催しました。同校は、今年学校運営協議会を設置し、はじめての会議開催となりました。委員委嘱にあたっては、倶知安町外からも委員委嘱を行いたいという倶高の要望を受け、本町からはCSコーディネーターが倶高CS委員に委嘱されました。

そこで、今回の運営協議会に参加した感想をお伝えします。(良い点を紹介します)

①学校がリーダーシップを発揮

教頭:議事進行 校長:学校運営の基本方針を説明



②一般の先生が委員として参加

2名先生が参加



学校の様子や生徒の様子が紹介されました。また、部活動への協力依頼がありました。

- ①学校に事務局が置かれており、学校のリーダーシップを感じました。
- ②先生が委員として参加しており、生徒の様子や先生方の声を直接指導にあたっている先生から聞くことができました。会議に参加する先生方の説明から、CSに対する期待感が伝わってきました。

今後も他町村の学校運営協議会実践例を参考に、京極町らしいコミュニティ・スクールを目指していきたいと思います。